

事業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・スペースについての確保ができています
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員に欠員が出た際の人員確保として、余剰人員が欲しい
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・身体障害（肢体不自由）の利用者に対するバリアフリー化が足りないと思う
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・運動スペースがもう少し広いと良い ・清掃されていて綺麗だと思う
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・面談室や隣接の放課後等デイサービスの教室の使用ができています
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・職員間での話し合いが、毎日できているので問題ないです
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・送迎時に保護者と話す機会がしっかり確保できているので、改善点を抽出しやすい
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日のミーティングの他に、職員間が意見をする時間を意識的に設けているので、風通しの良い環境と感じます
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価については今後の課題のひとつとして捉えております
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・数はこなしておりますが、外部・事業所内研修共に、まだ足りないと感じており、今後の大きな課題です
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・2025年4月1日にホームページで公表する準備でとりこんでおり、公表についての案内を保護者様にアナウンスを行います
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・児童発達支援管理責任者を中心に、課題を職員で抽出し保護者との面談にて作成をしております
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・モニタリングの他に、空いた時間に必ず話し合いを行うことで職員間で情報を共有し、日々検討を行っております
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・営業日は、職員が自由に個別支援計画書が見れるようにしており、必要の際は話し合いを行い支援に繋げております
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・利用者の特性によりバラつきはありますが、個別の行動観察を記録するツールを使用しております
	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援ガイドラインの「児童初田牛円の提供すべき支援」に沿った支援内容を個別支援計画に反映させております
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎日の振り返りの場面で、職員全員で打ち合わせを行っております

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・固定されたプログラムの他に、ちょっとした工夫を行うことで新しいものを取り入れております
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・前半部分が個別活動、後半部分を集団活動としてバランスの取れた支援を行っております
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日、利用者を受け入れ前に職員全員で打ち合わせを行っております
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・必ず取り組んでおり、保護者様に伝え漏れがあった際には、電話やLINEにて報告を必ず行っております
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎回、記録をとり改善できるようにしております
	23	定期的にモニタリングを行い、個別発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・午前の部終了後にモニタリングも含めた話し合いの時間が設けられております
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加しております
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・園や他事業所、相談支援員との連携は頻繁にしております
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・実際に、園の職員さんに事業所の見学はさせていただいております
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・隣接の放課後等デイサービス事業所と連携をし、情報共有を行っております
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・区の子ども発達支援センターとの情報共有の一環として、発達等の検査を受けた際には、保護者の許可を得たうえで情報共有をしております
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・現状として、大きな課題ではあります
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・定期面談の他に、毎日の送迎時に必ず話し合いの時間を設けております
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントトレーニングに関しては、毎年の課題ではありますがご家庭により困りごとが違うので、なかなか開催ができておりません	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に必ず説明をしております
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者と利用者の意向を個別支援計画書に記載したうえで作成しております
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		・内容の説明する定期面談の時間を設け、同意をいただいております

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期面談の他に、いつでも相談を出来る体制は整えております
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者会の開催は課題のひとつではありますが、共働き家庭を考えると、現状では非常に難しく感じております
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・いついかなる時も、相談にのる態勢は整えております
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月発行している瓦版『にこにこ新聞』の他に、必要の際には定期的にご案内として保護者様へお手紙を配布しております
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きの棚で保管しております
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・聴覚障害の利用者がいないため、基本は口頭での繰り返しの伝達の他、視覚からの情報を取り入れてもらう取り組みを行っております
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・地域との交流はできておりませんが、同グループの他事業所職員の見学会を開催しております
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・職員間での話し合いの中でマニュアル等の話し合いは行っておりますが、周知徹底が完全ではないと感じており、今後の課題です
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難訓練に関しては、消防署に計画を提出した後年2回、必ず開催しております
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・必ずしております
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者との情報共有にて必ずしております
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・行政からの指導のもと、安全計画を作成し研修を実施しております
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に基づき、感染症への注意喚起を務めております
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事例があった際には必ず作成し、職員で情報共有とともに再発防止に努めております
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年4回の『虐待防止チェックリスト』の記入を基に、研修を行っておりますが、課題は全員参加の研修日の設定ができず、個別になってしまうことです	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		・行政からの指導のもと、身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する機会を設けております	